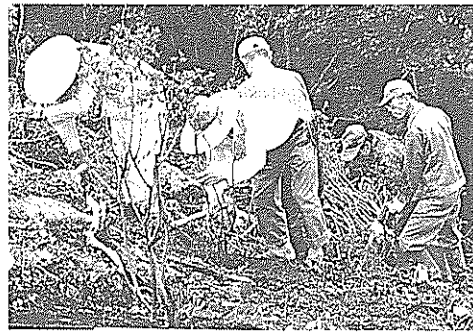


吾岡山をみんなの

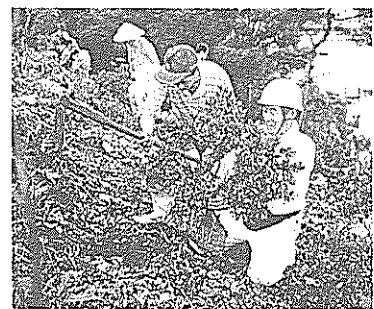
憩いの場に

つつじやさつき一千本を植樹



三ツの広場となっています。

この日、くわかまを手に集まった会員の皆さんは、苗木から十五年ものつつじやさつきをていねいに植えていました。また、北側の斜面には吾岡山の「吾」の字をかたどって植樹。



今後第二回、第三回目の植樹で「岡」と「山」の字を作り、花が咲く時期には南園パイパスから「吾岡山」の花文字が浮かび上がるようにしていく予定です。

第39回 社明運動

約五十人が

商店街をパレード



商店街をパレード

「責めるよりそつと支える立ち直り」をテーマに、社会を明るくする運動が今年も七月に展開され、十八日には刑務所作業製品の展示即売会などが行われました。

午前九時に市役所ロビーで市長や警察署長らがテープカット。覚醒剤防止のパネル展やビデオの上映、全国矯正展の受賞作品の展示などが行われました。作

学校給食を通じて 郷土料理を受け継ごう

業製品の展示即売会にも大勢の人が訪れ、折りたたみ椅子などを買いもとめていました。また、大会議室では青少年健全育成相談所や婦人問題相談所も開設されました。

午後一時からは保護司会の皆さんら約五十人が後免町商店街をパレード。うちわなどを配って地域ぐるみで社会を明るくしようと訴えていました。



ロビーで行われたパネル展

福祉センターで開かれ、学校給食の関係者など約五十人が参加しました。

これは、県教育委員会などが主催して、地域に根ざした学校給食を通して郷土料理を子供たちに受け継いでいくとともに、給食物資の一つの輸入食肉についての理解を深め、学校給食への活用を図ろうと行われたものです。

会では、高知女子大学の松崎淳子教授が「学校給食の献立の内容を魅力的で豊かにするための輸入牛肉の利用と郷土料理(高知の食事)について」と題して、学校給食の意義やその必要性をスライドなどを使って講演。参加者はメモをとりながら熱心に受講していました。